

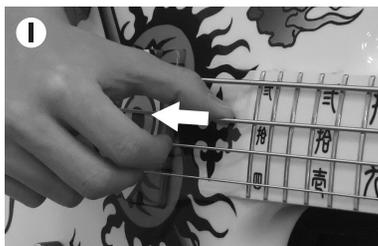
**注意点1**



**右手**

**右手の3本指を活用する  
必殺“3プル奏法”**

3プル奏法とは、右手親指・人差指・中指を使って、高速でプルを弾く必殺技だ。最大の注意点は、“親指のプルをしっかりと鳴らせるのか？”ということになる。親指は、通常のプルとは逆となる上方向から指を弦に潜り込ませるのだ。引っ張る力が足りないと、プルの音にならず、ただのピッキング音になってしまうので気をつけよう。まずは、3プルの基本動作を右手に叩き込み、親指(3弦)→人差指(2弦)→中指(1弦)の流れで、各プル音が均等になる【註】ように練習すべし(写真①～③)。出音が安定してきたら、徐々にテンポを上げて、3プル的高速化を図ることが大切だ。



親指のプルは、上側から弦を引っ張る。



親指のプルの後は、人差指のプルを弾く。



最後は中指のプル。各指の音量差に注意。

**注意点2**



**右手**

**3プルに薬指を加えた  
超絶“4プル奏法”**

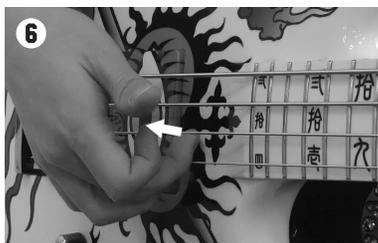
このエクササイズでは、3プルに右手薬指を加えた4プルも使用している。4プルは、3プルと同様に、親指・人差指・中指・薬指の各指を力強く引っ張り上げることが大切だ。まずは梅フレーズを使って、4弦:親指、3弦:人差指、2弦:中指、1弦:薬指という基本ポジションを右手に覚え込ませてみてほしい(写真④～⑦)。梅フレーズは開放弦のみなので、右手に集中して、各弦をプルで確実に鳴らそう。普段あまり使わない薬指は、発音が弱くなりやすく、また練習中に指の皮が破れて痛くなることがあるかもしれない。指の状態を確認しながら、少しずつ練習を進めていくとよいだろう。



4プルの基本動作。4弦は親指が担当する。



3プルと同様に、親指に続いて人差指でプルを弾く。



中指のプルで2弦を鳴らした後は……



薬指で1弦を弾こう。音量に注意!

**注意点3**



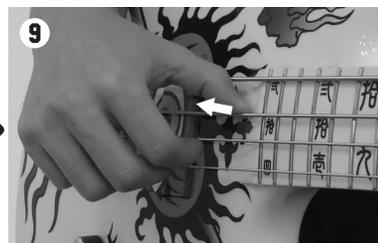
**右手**

**3プルを駆使して  
ゴースト・ノートを生み出せ!**

ヴィクター・ウッテンが得意とするロータリー奏法は、“ダウン→アップ→人差指によるプル”という3音パターンと、“ダウン→アップ→人差指によるプル→中指によるプル”という4音パターンがある。1回の手首の回転で3音や4音を鳴らすことができるため、スラップのスピードを上げるのに非常に役立つのだ。3プルや4プルも、1回の手首の回転で3音や4音を鳴らせるので、ロータリー奏法と同じ感覚で使える。ちなみに3プルは、松フレーズ1小節目1拍目のようにミュート音で使うのも効果的だ(写真⑧～⑪)。ここでは、3プルを使って、ゴースト・ノートを瞬間的に生み出している。



松フレーズ1小節目1拍目。まずは親指でサムピング。



ここから3プル。親指で3弦をプルする。



続いて、人差指のプルで2弦を発音する。



最後は、中指のプルで1弦を弾こう。

【各プル音が均等になる】 速く弾けたとしても、プル音にバラつきがあれば意味がない。親指をいじめ抜き、各指の音量が同じになるように努めよう!